



中川幸廣 議員（白和）

放課後等デイサービスの状況は

答弁…利用者数は年々増加の傾向である

問 放課後等デイサービスについて伺う。また、市内には放課後等デイサービスを行っている施設は何か所あり、その概要はどのようなものか。さらに、施設に対して市からの補助はあるのか。

答 学校教育と相まって障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを行うものである。事業所数は、6か所ある。施設の概要は、サービスの利用計画に沿い、発達支援が行われている。今年度は物価高騰対策支援事業補助金の交付を行った。



防災 インクルーシブ防災等の取組は

答弁…市民への啓発等に努めていく

問 あらゆる人を取り残さない防災をインクルーシブ防災というが、市の取組について伺う。また、平常時と災害時とを区別せずに利用できるフェーズフリーな防災備品について、市の取組を伺う。

答 インクルーシブ防災の取組を研究し、要配慮者の避難行動に対し、地域が関わる仕組みづくりの啓発と防災訓練への参加を呼び掛けていく。日常用品を災害時に活用できるフェーズフリーの考え方にに基づき、市民に対し、新たな知見や防災対策を周知していく。



松本栄一 議員（白和）

危険な交差点・通学路の事故対策を

答弁…安全対策を久喜警察署に相談していく

問 御成街道から宮代町に向かう市道104号線と213号線の交差点は事故が多い。また、東伸団地から御成街道に出る市道9327号線との交差点も見通しが悪く危険である。川崎市で交差点の事故防止に効果を上げた路面標示の「あっ！」を設置できないか。

答 該当する交差点の安全対策は、現在、久喜警察署と相談のうえ、路面標示や交通安全の啓発看板の設置を行っている。

また、「あっ！」の路面標示は、今後、先進事例を研究するほか、久喜警察署に相談していく。



公園 インクルーシブ公園・遊具の整備を

答弁…インクルーシブ遊具の採用を検討する

問 三郷市では県のふるさと創造資金の補助金を活用してインクルーシブ公園を整備したが、本市でも活用して整備できないか。また、既存の都市公園のうち、総合運動公園のアスレチック広場の遊具を障害の有無にかかわらず、誰もが遊べるように整備できないか。

答 新たな公園を整備する際は、先進事例を参考にインクルーシブ公園の整備を検討するとともに、県や国の補助金が活用できるよう協議する。また、総合運動公園などに設置している遊具の更新の際には、インクルーシブ遊具への改修も含め採用する遊具を検討する。